

PENTAX®

Z-5P

QUARTZ
DATE

使用説明書



パノラマ
途中切替え

このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。Z-5Pは、撮影途中でも自由にパノラマ／標準撮影の切り替えができます。また、パワーズームやプログラム自動露出からのワンタッチでのシャッター優先、絞り優先への切り替えとプログラムへの復帰などにより、自由に撮影者の意図を割り込ませることができます。

さらに、専用のパワーズームレンズとの組み合わせによるオート露光間ズームや焦点距離の設定など高精度なインテリジェントパワーズーム機能も備えたオートフォーカス一眼レフカメラです。

その他、以下のような特徴を備えています。

- ・ 動体予測
- ・ 9回までの多重露出
- ・ 8分割測光を含め、3つの測光モードを自由に選択可能。

ご使用前に使用説明書の関係部分をよくお読みの上、正しくお使いください。

各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開いて各ページを読みながらご覧いただくことができます。

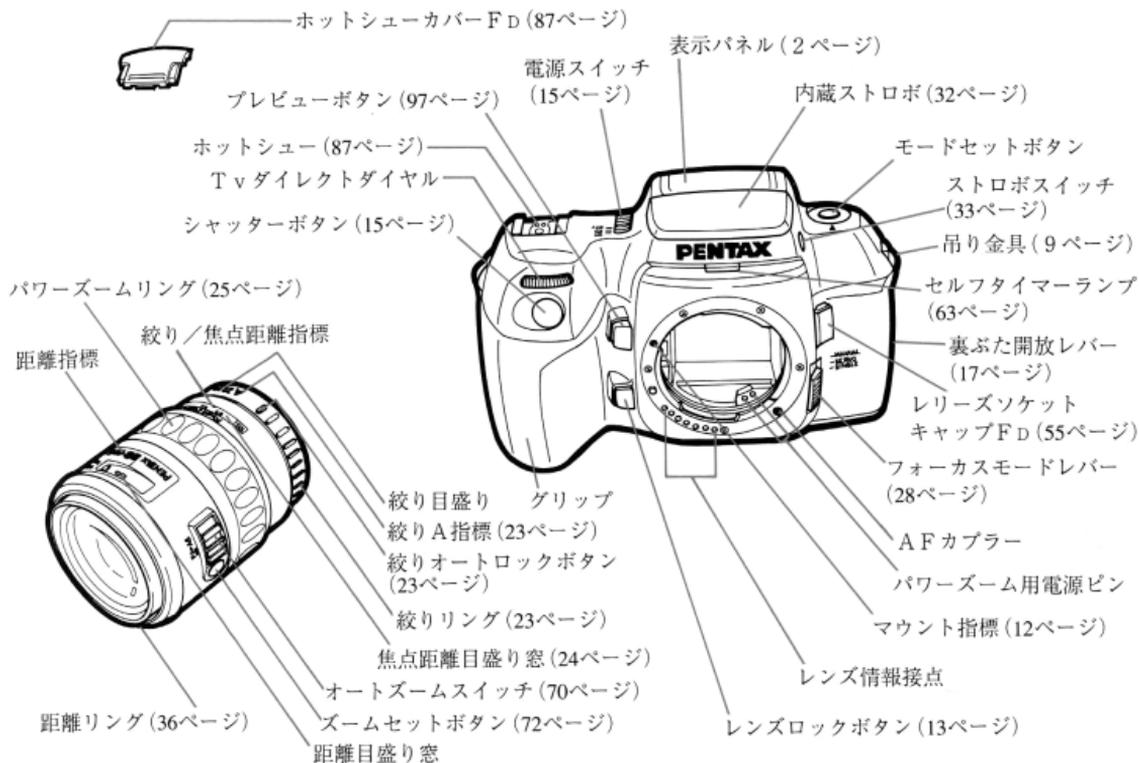
記号について

操作の方向	
自動的に動きます	
注目してください	
点滅します	
正しい	
間違い	



各部の名称を開いて見ながらお使いください。

各部の名称①



こんな写真を撮るには？



ピント関係

画面の中央にない物にピントを合わせたい	31
ピントの合う範囲を変えて写真を撮りたい	52
カメラを覗いて、ピントの合う範囲を確認したい	97



露出[明るさ]関係

カメラ任せでなく明るさを自由に変えて写真を撮りたい	48,56
逆光の人物の顔を明るく写したい	56,80
明るさを変えた写真を3枚連続して撮りたい	64



人物撮影関係

逆光の人物の顔を明るく写したい	56,80
自分自身も写真に写りたい	62
夜景をバックに人物を撮影したい	81



風景撮影関係

夜景を撮りたい	54
夜景をバックに人物を撮影したい	81



ズーミング関係

写したい物の大きさを大きくしたり小さくしたりしたい	24
自分が決めた焦点距離で常に撮影をしたい	71
シャッターが開いている間にズーミングをして 特殊な効果を出したい	73

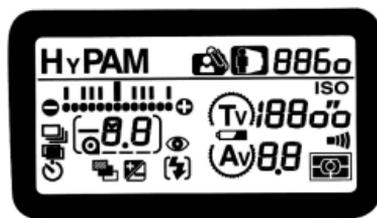


その他

写真に日付を入れたい[消したい]	16
動きのあるものを連続的に撮影したい	58
フィルムの同じ枚数の部分に重ねて撮影をしたい	59
横長のダイナミックな写真[パノラマ]を撮りたい	67

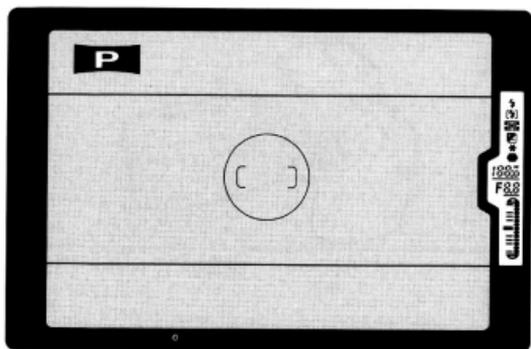
表示パネルの表示ガイド	2	・絞り優先自動露出の使い方	52
ファインダー内の表示ガイド	3	・バルブの使い方	54
使い方は簡単です	4	露出補正について	56
マウントについて	6	ドライブモードを選びます	57
Z-5Pと各種レンズを組み合わせたときの機能	7	・連続撮影の使い方	58
説明書の構成について	8	・多重露出撮影の使い方	59
カメラの準備と基本操作	9~21	・セルフタイマー撮影の使い方	62
ストラップを取り付けます	9	オートブラケットティング撮影の使い方	64
電池を入れます	10	パノラマ撮影	67
レンズを取り付けます	12	パワーズームの拡張機能	70
ファインダーの視度を調節します	14	・ズームクリップモードの使い方	71
シャッターボタンの操作	15	・露光間ズームモードの使い方	73
電源スイッチの操作	15	内蔵ストロボを使います	76
データバックを使います	16	・赤目軽減機能について	79
フィルムを入れます	17	・日中シンクロについて	80
フィルムの巻き戻しについて	20	・低速シンクロについて	81
基本的な使い方(撮影)	22~34	・AFスポットビームについて	82
最も簡単な露出モードを使います	22	電子音を消すには	83
ズームレンズの使い方	24	クォーツデートのデータ修正	84
カメラの構え方	27	フィルム感度(ISO)のマニュアル設定	86
オートフォーカスで使います	28	外付けストロボの使い方	87
オートフォーカスでピントを合わせます	29	・光量比制御シンクロ撮影	90
・フォーカスロック撮影について	31	専用アクセサリ(別売)について	91
撮影します	32	ソフトケースFDP	94
内蔵ストロボの基本的な使い方	32	絞りとシャッター速度の効果	95
応用的な使い方	35~98	被写界深度	97
手動によるピント合わせ	35	・プレビューボタンについて	97
オートフォーカスの苦手な被写体	38	赤外線指標について	98
測光モードの切り替えについて	40	その他について	99~111
・8分割測光について	41	電池について	99
・スポット測光について	42	取り扱い上の注意	100
・中央重点測光について	42	こんなときは?	102
・メモリーロックについて	43	主な仕様	104
各露出モードを選びます	44	お問い合わせは次の各サービス窓口へ	106
・ハイパープログラム自動露出の使い方	46	各部の名称	108
・ハイパーマニュアル露出の使い方	48	アフターサービスについて	109

表示パネルの表示ガイド



HyP	: ハイパープログラム自動露出表示(46ページ)
P	: プログラム自動露出表示(23ページ)
A(∞)	: 絞り優先自動露出表示(52ページ)
■	: バリグラフ(48、56、64ページ)
ISO	: フィルム感度表示(ISO)(86ページ)
TV	: Tvダイレクトダイヤル表示
HyM	: ハイパーマニュアル露出表示(48ページ)
📷	: ズームクリップモード表示(71ページ)
📷	: 露光間ズームモード表示(73ページ)

8000	: シャッター速度表示
32	: 絞り表示
☀️	: 測光モード表示(40ページ)
🕒	: セルフタイマー表示(62ページ)
👁️	: 赤目軽減表示(79ページ)
📷	: 内蔵ストロボ情報表示(32ページ)
📷	: 露出補正表示(56ページ)
📷	: Avダイレクトダイヤル表示
🔊	: 電子音有効表示(83ページ)
🔋	: 電池消耗表示(11ページ)
-8.8	: フィルム枚数、多重露出回数表示(19、59ページ)
📷	: 露出補正值表示(56ページ)
📷	: ブラケットティング補正值表示(65ページ)
📷	: フィルム状態表示(19ページ)
📷	: 1コマ撮影表示(57ページ)
📷	: 連続撮影表示(58ページ)
📷	: ブラケットティング表示(64ページ)
📷	: 多重露出表示(59ページ)

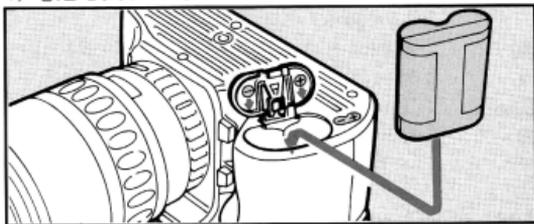


- () : オートフォーカスフレーム (A F フレーム) (29ページ)
- (P) : 内蔵ストロボ情報表示 (32ページ)
- ☎ : 外付けストロボ情報表示 (87ページ)
- 0000 : Tv表示 (シャッター速度情報)
- ☑ : 露出補正表示 (56ページ)
- * : メモリーロック表示 (43ページ)
- : 合焦表示 (ピント情報) (29ページ)
- F3.2 : Av表示 (絞り情報)
- ☐ : パノラマシグナル (67ページ)
- ☐ : バークラフ (48、56、64ページ)
- ☐ : 測光モード表示 (40ページ)

- ※ ファインダー内の横線は、パノラマ撮影をする際のパノラマ視野枠になります。
- ※ オートフォーカスフレームの回りの円は、スポット測光の範囲です。
- ※ 標準撮影のときは、パノラマシグナル  が消えていることを確認してください。

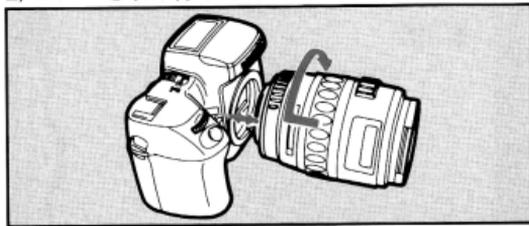
4 使い方は簡単です！ (とにかく撮影してみたい人のために)

1) 電池を入れてください



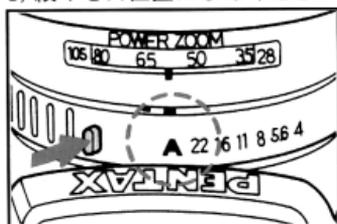
電池ぶたを開いて、リチウム電池 **2CR5** 1本をカメラの表示に合わせて入れます。(10ページ)

2) レンズを取り付けてください



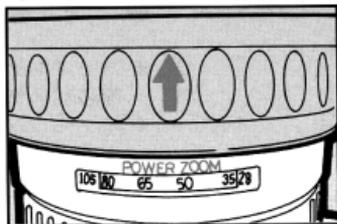
レンズとカメラのマウント指標を合わせてハメ込み、右に止まるまで回してロックします。(12ページ)

3) 絞りをA位置にしてください



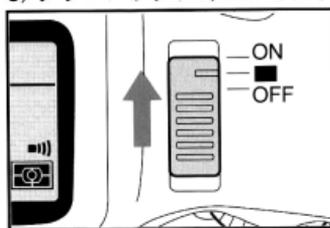
レンズの絞りオートロックボタンを押しながらリングを回し、絞りをA位置に合わせます。(23ページ)

4) パワーズームにしてください



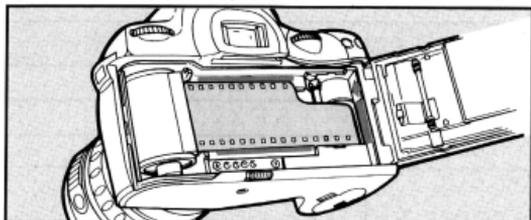
レンズの**POWER ZOOM**が見える状態にし、オートズームスイッチを**P**にします(25ページ)。パワーズームはFAズームでのみ可能です。

5) グリーンポジションにします



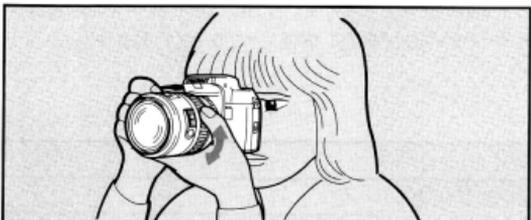
電源スイッチを  (グリーンポジション) に合わせます。(15ページ)

6) フィルムを入れてください



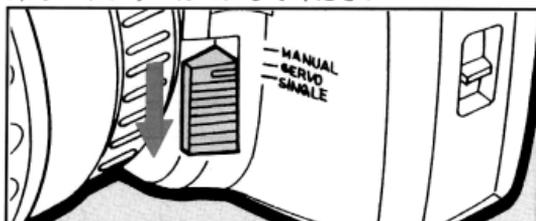
カメラの裏ぶたを開けてフィルムを入れ、先端マークを合わせて裏ぶたを閉めます。自動的に1コマ目まで巻き上がります。(17ページ)

8) パワーズームで構図を決めてください



ファインダーを覗きながらズームリングを回して、写したいものを好みの大きさにしてください。(24ページ)

7) オートフォーカスにしてください



フォーカスモードレバーを[SINGLE]に合わせます。(28ページ)

9) ピントを合わせて撮影してください



写したいもの(被写体)をAFフレーム [C] に合わせて、シャッターボタンを静かに押して撮影します。(29ページ)

マウントについて

カメラ・レンズのマウントについて

マウントの分類名称	レンズ分類名称	カメラ代表機種名
① KAF2マウント	ペンタックスFAレンズ	Z-1P、Z-20P、Z-50P、Z-5P
② KAFマウント	ペンタックスFレンズ	SFXN、SF7
③ KAマウント	ペンタックスAレンズ	スーパーA、P30T
④ Kマウント	ペンタックスMレンズ およびペンタックスレンズ	LX、K1000
⑤ スクリューマウント	SMCタクマーレンズなど	ESII、SP

①～④のレンズはKマウント(バヨネット式)です。

①～②はオートフォーカス対応レンズです。

③～⑤はマニュアルフォーカスレンズです。

⑤は旧タイプのねじ込み式レンズですから、マウントアダプターK(別売)を使って取り付けます。

①～③は絞りリングにA(オート)位置が付いています。

ペンタックスFAレンズはKマウントに以下の機能が追加されたもので、従来のKマウントカメラにも使えるようになっています。

- ・パワーズーム用電源ピン
- ・AFカプラー
- ・レンズ情報接点

Kマウント互換イメージ図

KAF2マウントレンズ			
・パワーズーム用電源ピン	KAFマウントレンズ		
・AFカプラー	・AFカプラー	KAマウントレンズ	
・レンズ情報接点	・レンズ情報接点	・レンズ情報接点	Kマウントレンズ

機能	レンズ [マウント名]	F Aレンズ [KAF2]	F レンズ [KAF]	Aレンズ [KA]	Mレンズ [K]	Sレンズ [P]
オートフォーカス(レンズ単体使用) (A Fアダプター1.7×使用)		○	○	×	×	×
マニュアルフォーカス(FI表示の利用)注2 (マツト面の利用)		○注3	○注3	○注3	○注3	×
パワーズーム		○注4	×	×	×	×
ズームクリップ		○注4	×	×	×	×
露光間ズーム		○注4	×	×	×	×
ハイパープログラム自動露出		○	○注5	○	×	×
プログラム自動露出		○	○注5	○	×	×
絞り優先自動露出		○	○	○	○	○
ハイパーマニュアル露出		○	○	○	○注6	○注6
プログラムTTLオートストロボ撮影		○	○注5	○	×	×
TTLオートストロボ撮影		○	○	○	○	○
分割測光		○	○	○	×	×
絞りA位置以外の絞り目安表示		○	○	×	×	×

注1：レンズの開放F値がF2.8より明るいレンズのみ。(A Fアダプターの説明書をご覧ください。)

注2：ファインダー内の合焦表示 に従って行なう手動のピント合わせ。(F I=フォーカスインジケーター。)

注3：レンズの開放F値がF5.6より明るいレンズのみ。

注4：F Aズームレンズのみ。

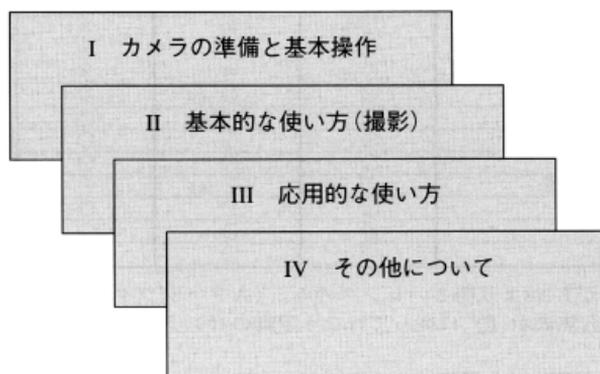
注5：F レンズのソフト85mm F2.8を除く。

注6：絞りにA位置がありませんので、A vダイレクトダイヤルでの絞りセットでは使用できません。

注7：Mレンズ以前(情報接点のないレンズ)は、8分割測光にらず中央重点測光かスポット測光になります。電源スイッチがグリーンポジション では、中央重点測光だけになります。

説明書の構成について

説明書を効果的にご利用いただくために、この説明書は次のように分けられています。



- とにかくZ-5Pで撮影してみたい方は、「カメラの準備と基本操作」と「基本的な使い方(撮影)」をお読みください。最小限の操作を知っていただくだけで簡単な撮影がお楽しみいただけます。
- 「電池について」(99ページ)「取り扱い上の注意」(100ページ)「アフターサービスについて」(109ページ)は必ずお読みください。